

# 働きやすい風土の実現に DXのデジタル化を活用する

## 株式会社 小池組

<導入した製品>  
どっと原価3 ライト

原価管理システム

どっと原価



“弊社は信州新町という山間部の田舎にある中小企業でありながら、多くの若手職員の獲得に成功しています。

建設業界ではいち早く2018年に働き方改革を宣言し、DXによる業務の効率化を推し進めることにより今年度2024年には年間休日129日を実現しました。人手不足の中でも入社希望者が後を絶たないのは、より働きやすい職場風土を実現してきている成果です。

3Kのイメージの強い土木工事業ではありますが災害の多発する昨今、社会的貢献度は高く、生きがいやりがいを持ち自己実現ができる企業をこれからも目指していきます。”



2019年4月より施行された働き方改革関連法案により、働き方が従来の方法から大きく変わりました。

「一億総活躍社会」

働き方改革が目指すのは、50年後も人口1億人を維持し、家庭・職場・地域などあらゆる場面で、誰もが活躍する社会のことです。そのためには個々の事情に合わせた多様な働き方ができる環境を整備する必要があります。

小池組様は、DXを推し進めることにより、労働生産性が向上し、仕事と生活の調和「ワーク・ライフ・バランス」を実現することができ、その結果、若手人材の確保、年休129日実施など、変化する情勢にいち早く対応されています。

小池組様の公式ホームページやSNSからは、そんな働きやすさがうかがえる普段の様子がたくさん掲載されています。



# 株式会社 小池組

## プロフィール

### 株式会社 小池組

- 業種: 土木
- 売上高: 5億~10億未満
- 作業員数: 31人~100人
- 利用形態: クラウド
- 住所: 長野県長野市
- TEL: 026-262-2005
- URL: <https://www.koike-gumi-nagano.com/>

## —導入検討に至った経緯—

「毎月、仕入業者から請求書が届き、支払処理が済んでからExcelの仕入台帳に記帳、その後工事台帳に転記するまでのタイムラグが2か月近くあったことで、後追いの経理処理であった。そのためリアルタイムな財務状況の把握ができず、経営上の課題となっていました。」

経営判断にはスピードが重要です。

システム未導入のお客様から寄せられる困りごととして、工事情報の報告と財務情報の報告のスピード感が合わず精査が出来ないとの課題が多く寄せられます。

また、経理情報を処理する際に、工事関連の情報を転記できる運用としている場合は回避できますが、個別入力している場合は、重複入力作業があったり、工事の全体情報を把握するのに時間も要したりすることが経営判断の妨げになったりします。

## —導入検討に至った経緯—

「紙での工事日報を提出してもらい、集計した結果を複数あるExcel形式の経理台帳に何度も同じ内容を手入力して転記する作業が必要だった。

一つのミスをするるとすべての経理台帳を手入力で訂正する必要があったために、DXのデジタル化により業務効率を向上する必要がありました。」

DXは業務形態、業務運用を見直す良い機会となります。DXのデジタル化により、従来のアナログ業務の改善を行うことで業務省力化が図れます。

## —「どっと原価3」導入後の効果やご満足いただいた点—

「タイムリーな原価管理ができるようになり現場代理人が必要な原価情報を把握できるようになりました。」

小池組様には工事原価管理システムが優れている点を的確に体感していただいています。

入力後はリアルタイムに現場利益情報が確認でき、進捗状況や発注予定などの計画差異についても工事担当者が手間をかけずに把握することが可能です。

## —「どっと原価3」に今後期待される点—

「システム化により、さらに効率の良いスピーディーな経理業務を実現していきたいです。」

建設業周辺では、BIM/CIMなどの、調査測量から設計、施工、維持管理に至るまでを一元管理できる技術をはじめ、工事業務を支えるバックオフィスの経理業務も電子契約や働き方改革を推進する勤怠管理ソフトなどの業務効率化の進歩が絶えません。

職員の高齢化、少子化時代の人材確保などの課題があっても、小池組様ではDXによる業務効率化や職場環境の改善などが推し進められ、「労働力不足の解消」を実現されています。

弊社製品もその実現に少しでもお役に立てていることを、今回、改めて実感いたしました。

## まとめ



### 導入前のお悩み

業者請求書が届き、支払処理後、台帳へ記載する後追いの処理であったため、財務状況がリアルタイムで把握できない

### ニーズ

複数あるExcelの台帳に同じ内容を何度も入力している作業が削減でき、業務効率化が図れる

### 導入後に期待する点

タイムリーな原価管理ができるようになり現場代理人が必要な原価情報を把握できるようになった